

ホーネン水閘

丸ゴム収納水閘



HO-NEN

農家・土地改良区・施工業者の皆様へ、

『ホーネン丸ゴム収納水閘』は農家の皆様と共生し、
より良く、より斬新な製品

を提供する技術の株式会社ホーネンが開発致しました。

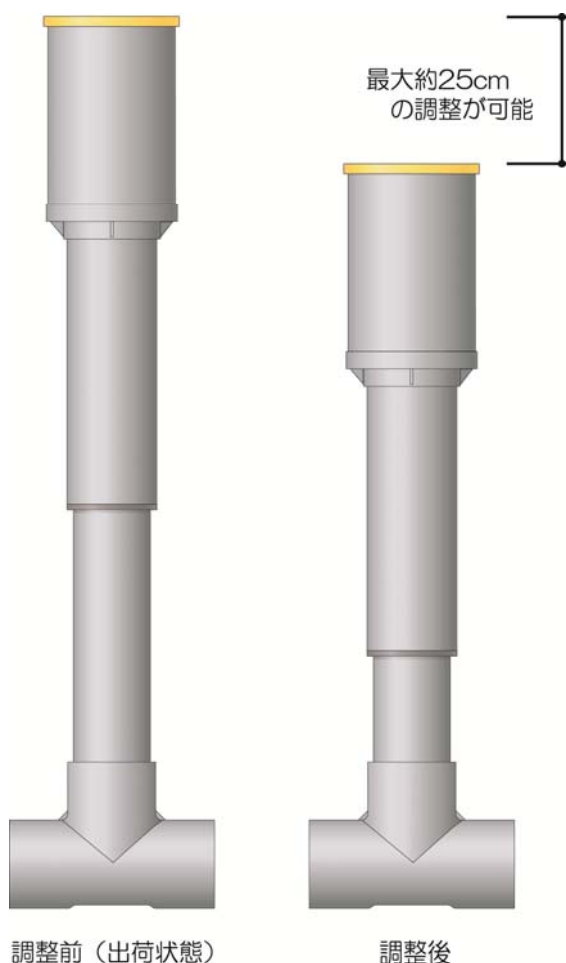
『ホーネン丸ゴム収納水閘』は

農作業の効率化を目的とし、

1. 草刈作業の邪魔にならない水閘
2. 降雪時、強風時破損の無い水閘
3. 畦畔痩せ対応可能水閘

として好評を得、年間1万本を越える

『ホーネン丸ゴム収納水閘』を全国に出荷しております。



【特徴】

ホーネン丸ゴム収納水閘は最大で約25cm上下に稼動するスライドシステムの採用により（左図）、現場にて立て管を切断することなく、高さを調整できるため、必要以上に廃材を出すことが無く、環境に優しい製品です。

収納BOX上部には作業上、十分な余裕を確保しており、暗渠水排水時、止水栓ゴムを開放したまま上部キャップをして使用できます。

一体型スライド収納BOX部分には環境に配慮してリサイクル塩ビ管を使用しております。

<規格表>

(単位:mm)

呼径	寸法	受口径	BOX径	調節長	全長
65		76	189	250	1,250~1,500
75		89	189	250	1,250~1,500
100		114	189	250	1,250~1,500
125		140	189	250	1,250~1,500

(許容差±2%)

＊草刈作業の邪魔にならない水閘

ホーネン丸ゴム収納水閘は畦畔の天端と同等の高さになるように設置できるため、草刈作業時、邪魔になったり、草刈機による収納部の蓋を破損する危険性の少ない製品です。

＊降雪時、強風時破損の無い水閘

従来の水閘は上部が地上に露出したり、止水栓を上下させる操作棒が必要以上に地上に飛び出したりして、降雪時及び強風により破損の要因になっていましたが、水閘を収納する事により解決いたしました。



畦畔に露出して設置された従来型水閘



経年変化、雪害等により破損した水閘

＊畦畔痩せ対応可能水閘

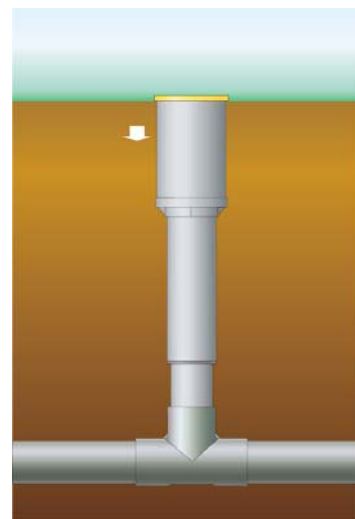
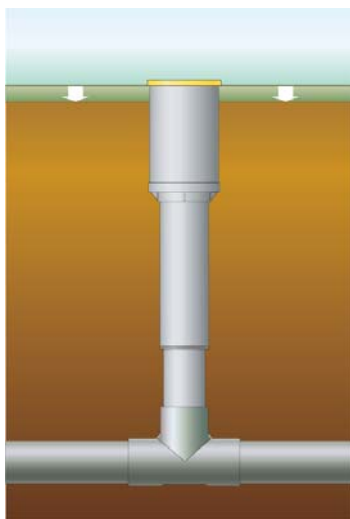
畦畔はどのように慎重に施工しても、新規施工時の高さを確保する事は困難といえます。そうしますと、水閘上部が地上に露出し特徴である収納式の意味を失いかねません。畦畔が若干痩せる状態になっても、スライド機能を活かし調整が可能です。



畦畔やせにより頭部が露出した状態



高さ調整後の状態



スライド可能な収納型水閘をご使用いただければ、状況に応じて柔軟に対応できます

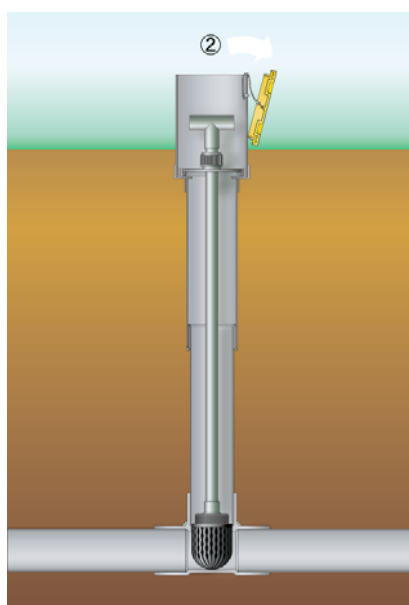
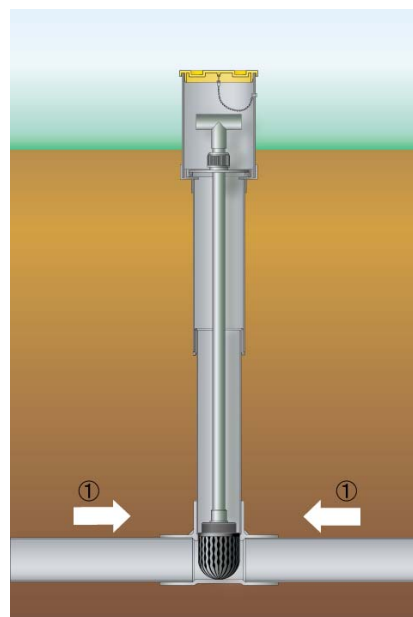
《施工手順》

1》水閘設置〈①〉

集水管（塩ビ管）に丸ゴム収納水閘を接続、現場据付をします。水閘との取付け接続管として必ず塩ビ管《無孔》2m以上を使用して下さい。

（PE管など接着剤が使用できない管を使用しますと漏水等により畦畔崩壊を起こす危険性があります。）

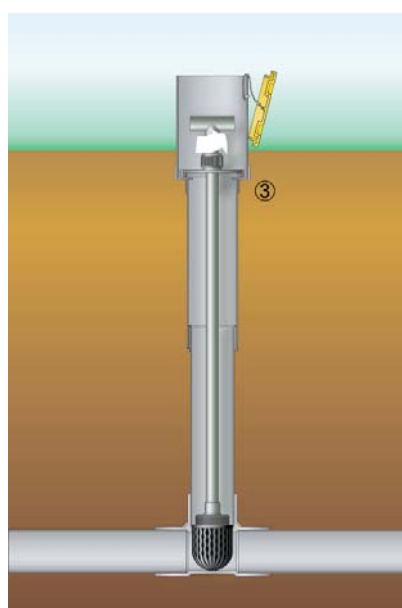
また埋戻しを行う際は、各種仕様に基づき、水閘回りのつき固めは十分に行ってください。



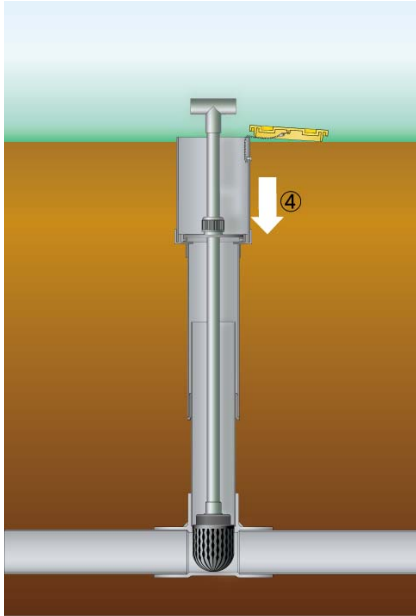
2》収納キャップを外します。〈②〉

3》袋ナットを緩めます。〈③〉

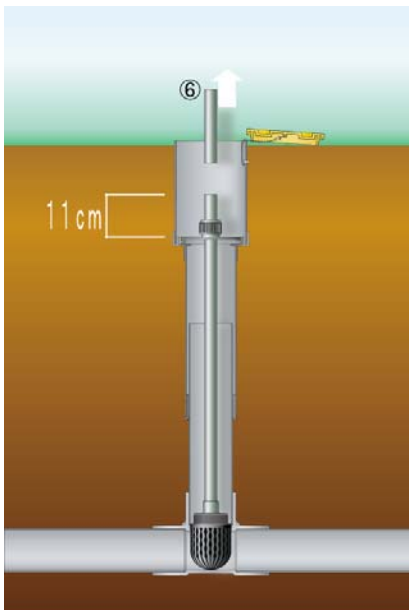
※必ず袋ナットが緩んでいることを確認してください。緩めずに調整を行うと、使用する際に、操作棒、固定版に支障をきたす場合があります。



4》収納BOXを所定の位置までスライドをさせ高さを調節します。〈④〉



5》取手T字管を取り外します。〈⑤〉



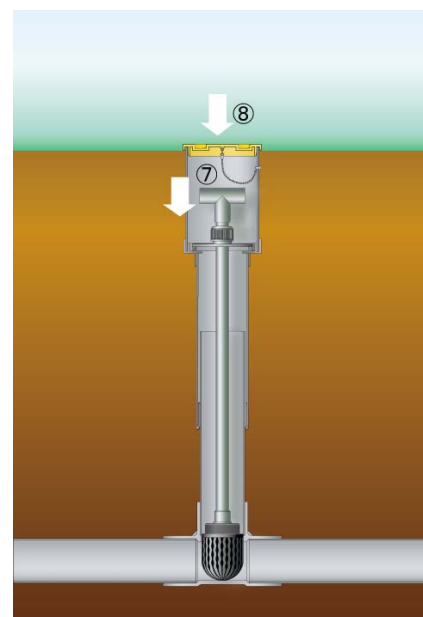
6》止水栓操作棒を押込み、止水栓ゴムが水閘底部と接触していることを確認してから固定板より11cm残るように操作棒を切断します。〈⑥〉

***規定の長さで切断しないと、止排水性能に支障をきたす恐れがありますので、切り過ぎ・切残しに十分注意して下さい。**


7》取手T字管と操作棒とを接着剤にて接合します。〈⑦〉

この時袋ナット等に接着剤が付着しないように十分注意をしてください。

8》収納キャップを閉めて完成です。〈⑧〉



お問い合わせ先

 株式会社 ホーネット

〒013-0063 秋田県横手市婦気大堤字婦気前234-3
営業所 TEL(0182)32-9091 FAX(0182)32-9090
〒013-0036 秋田県横手市駅前町1番20号
本社 TEL(0182)32-0901 FAX(0182)32-0948